

メタボリックシンドロームの発症リスクを分かりやすく表示する  
「生活習慣病リスクシミュレーション」発売

2007年2月12日

株式会社日立メディコ  
代表執行役執行役社長 稲員 裕三

メタボリックシンドロームの発症リスクを分かりやすく表示する  
「生活習慣病リスクシミュレーション」発売

株式会社日立メディコ(本社所在地: 東京都千代田区、執行役社長: 稲員裕三、資本金 138 億 8 千 4 百万円)はこのほど、2008 年 4 月から始まる特定健診・特定保健指導に対応した「生活習慣病リスクシミュレーション」を既に発売している次世代型健診システム「ヘルゼアネオ」の追加機能として 2007 年 4 月に発売開始します。

1. 開発の背景とねらい

2008 年 4 月からメタボリックシンドロームの概念を導入した健診及び保健指導が義務づけられます(注 1)。しかし、40～74 歳でメタボリックシンドロームが強く疑われる者または予備軍と考えられる者(推定約 1960 万人)に対して保健師(約 4 万 6 千人)という現実の下、生活習慣の改善に関心を持っていただくために、いかに効果的に保健指導を行うか、IT を活用して効率的に保健指導を行うかという点が重要になります。

この問題点を解決するために、既に発売している「ヘルゼアネオ(注 2)」の新機能として特に生活習慣病(メタボリックシンドローム、糖尿病、高血圧、高脂血症の各疾病)の発症リスクを表示する「生活習慣病リスクシミュレーション」を東京慈恵会医科大学総合健診・予防医学センター様、国立大学法人東京工業大学情報工学研究施設様、日立健康管理センター様、日立製作所中央研究所様、日立メディコで共同開発いたしました。(なお、本開発には、一部経済産業省「平成 14 年度情報経済基盤整備」事業の研究委託により実施したものを含んでおります。)

【注 1】特定健診及び特定保健指導の義務化について

2008 年 4 月から医療保険者(国保・被用者保険)に対して、40 歳以上 74 歳以下の全国民を対象に、メタボリックシンドロームの概念を導入した特定健診及び特定保健指導が義務づけられます。義務化に伴い、特定健診後のリスクに応じ対象者への特定保健指導を保健師が行うようになります。

【注 2】「ヘルゼアネオ」

効率的な健康診断実施と共に重要になってきている施設の健全経営をサポートするために開発されたシステム。従来の検査データ管理・分析・抽出・指導機能に加え、営業活動情報及び契約情報の管理、経営支援等の施設運營業務をサポートすることができる次世代型の健診システム

## 2. 本機能の概要

(1) 東京慈恵会医科大学総合健診・予防医学センター様、日立健康管理センタ様で蓄積した約20,000人(10万件)の検査結果、生活習慣約50項目を分析し、指導に重要な19項目を抽出しました。これらの項目の過去の健診データと保健指導対象者の健診結果とを照合し、過去に同じような人がどの程度の割合で生活習慣病を発症したかを表示します。

(2) 最もリスクを高めている生活習慣を改善した場合、どの程度リスクが軽減されるかも表示することが出来ます。このことにより、保健指導対象者に対して、今、何をすればもっとも効果的にリスクを軽減させることができるかを分かりやすく説明することが出来ます。

(3) 本機能は導入した施設の検査結果や生活習慣の問診結果を蓄積し、それを基にして分析を行うことから、地域性や対象者別の特異性も加味することが出来ます。施設毎に、より具体的な保健指導を実施していただくことが可能です。

(4) 一画面上で、メタボリックシンドローム、糖尿病、高血圧、高脂血症の各疾病リスクを同時表示させることが出来るので、効率的な保健指導の一助となります。

## 3. 機能の特長

### (1) 疾病別の発症リスク表示

メタボリックシンドローム(予備群、発症者)及び生活習慣病である糖尿病、高血圧、高脂血症の各発症リスクを表示させることにより、保健指導対象者に対して生活習慣病予防の動機付けに役立ちます。

### (2) 推奨改善項目の表示

生活習慣に関する問診項目の中で最もリスクを高めている項目を表示し、何を改善すれば効果的にメタボリックシンドロームや生活習慣病のリスクを軽減させられるかを表示することにより、より具体的な改善内容を提供します。

### (3) 健康者と比較した場合のリスク表示

健康者と比較して、どの位リスク(倍率)が高いかを表示することにより、生活習慣病予防への意識を高めます。

### (4) 推奨改善項目押下時の再計算リスク表示

最もリスクを高めている生活習慣を変えた場合にどのくらいリスクが軽減されていたかを表示させることにより、より具体的な改善内容と生活習慣病予防への意識を高めます。

4. **発売時期:**2007年04月

5. **販売予定価格:**200万円~(ハードウェア+パッケージソフトウェア+導入経費)

6. **初年度販売予定:**国内50システム

### 【本ニュースに関するお問い合わせ先】

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原 UDX18 階

株式会社日立メディコ(URL <http://www.hitachi-medical.co.jp>)

広報担当: 杉原、松井 TEL 03-3526-8809 FAX 03-3526-8810

製品担当: 井桁 TEL 03-3526-8242 FAX 03-3526-8240